

受付番号	平成28年 2月 25日
	午前 11時20分 受領

平成 28 年 2 月 25 日

胎内市議会議長 渡辺 俊 様

会派名 政 和 会  
 会派代表質問者 氏 名 宮 樫 誠

## 会派代表質問通告書



胎内市議会運営に関する申し合わせ事項により、次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
第2次総合計画の策定にあたって。	<p>1) 第1次総合計画の検証を踏まえた策定を。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・合併特例債事業も、10年目になりJR西口整備を残すのみとなったが、この事業に対する評価は。</li> <li>・西口整備も新年度から橋上駅舎及び東西自由通路工事に取りかかるとの事だが、西口完成後のまちづくりを見据えた「立地適正化計画」とはどのようなものか。</li> <li>・合併後あらゆる施策を駆使しても指摘されるのが、町部と村部・中心部と中山間地の均衡ある発展だが、胎内市の現状をどう評価しているか。</li> <li>・コンパクトシティは理想だが、胎内市の場合地形上、高齢化対策上、公共交通手段に頼らなければならない、デマンドタクシーの更なるきめ細かな活用が必要と思うが、過去の取り組み実績と今後に向けた考えは。</li> <li>・少子化問題は全国市町村永遠の課題になりつつある、胎内市もこの10年間必死で取り組まれてきたと思うが、なかなか結果が出ない。その評価と今後の取り組みは。</li> <li>・保育料3人目以降無償化だが、1人目から無償化にしたら予算はいくらか。「子育ての胎内市」にするには、今後クリアすべく検討してはどうか。</li> <li>・高齢者福祉問題は介護施設への待機者の多さが将来不安を醸しだしている。急ピッチで地域密着型施設が開設したが、解消できたとは言えない、今後進むべき方向をどう考えているのか。</li> </ul>	市長

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅困窮者の生活を支援するための低額家賃の住宅供給について。県営・市営住宅建設は終了したが、入居待機者の現状と今後の対応は。</li> </ul>	市 長
	<p>2) 産業振興策について。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施政方針では「活力を創出する環境づくり」の意の一番に農業振興をあげておりますが稲作農業従事者の平均年齢は68歳、もはや農家個人個人の経営では国の補助金だのみと言っても過言ではありません。活力を創出するに「知恵と人材の結集」すなわち自ら切り開く「組織の設立と法人化」が避けて通れません。次の10年に向かっての取り組み姿勢と、平成30年を目途とする米政策の見直しについてその内容と対策を伺います。</li> <li>・商工振興に関する取り組みの中で、新たに「中小企業・小規模企業振興基本条例」を制定するとしてあるが、何がどんな風になる条例なのか伺います。</li> <li>・胎内リゾートの活性化については市長就任以来10年、精力的に取り組んでこられました。今後の伸び代はどのようなところに特に期待しているか伺います。</li> </ul>	市 長
	<p>3) 胎内市沖洋上風力発電の推進について。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この構想について市として積極的に研究・調査する考えはあるのか。</li> <li>・第2次総合に載せる考えはあるのか。</li> </ul>	市 長

受付番号	平成28年2月25日
	午前10時30分 受領

平成28年2月25日

胎内市議会議長 渡辺 俊 様

会派代表質問 会派名 緑 風 会

氏名 薄田 智



## 会派代表質問通告書

胎内市議会運営に関する申し合わせ事項により、次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1 第2次総合計画の策定について	<p>平成29年度を初年度とする今後10年間の本市の第2次総合計画を平成28年度中に完成させるということであるが、この計画は、「まちづくりの最も基本となる計画」とも言えるもので、今後の行財政運営の指針でもあり、市政運営の基本となるものとするものとする。</p> <p>1 現在の第1次総合計画は、平成28年度までであり、今後1年をかけて策定を行っていくということであるが、市長としての総括と成果については、何時の段階で議会に提示されるのか。</p> <p>2 次期計画について、急激な社会の変化や多様化する市民のニーズをどう把握し、どう反映していくのか。また、議会との協議についてどう対応していくのか。さらに次期計画策定のスケジュールを含めて、市長の基本的な考え方について</p>	市長
2 地方創生の推進について	<p>1 平成28年度より国からの普通交付税が段階的に削減されるため、財政の健全化に努め、不断の行政改革に取り組むとのことですが、具体的な内容について、何を縮小し、何に特化して取り組むのか、将来的な展望も含め、市長の基本的な考え方について</p> <p>2 少子化対策において、合計特殊出生率を現状の1.46から30年かけて2.1にすることについて</p> <p>①胎内市の未婚者の現状分析について</p> <p>②出産や子育て世代は何を考え、何を行政に求めているのか等の現状把握が必要と考えるが。</p> <p>③市を挙げて少子化対策に取り組み、どれだけ本気で市が支援し、出産や子育てを地道に取り組むかが大事と考えるが。</p> <p>④本市の魅力や取り組みを市内外にどうPRし、発信するかが大きなポイントと考えるが。</p>	市長

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>3 活力ある産業振興と地域産業支援について</p>	<p>3 雇用環境の充実について            ①地元中小企業の育成について            「中小企業・小規模企業振興基金条例」の制定のねらいと具体的な予算措置、さらに店舗などの新築や改装の補助金について            ②「ふるさと胎内市」としてのUターンやIターンの受け入れ対応について、本市独自の事業化や移住に対する特別支援の考えはあるのか。</p> <p>1 合併後 10 年間実施してきた合併特例債活用事業は、20 事業、総事業費 140 億円にもおよび、地域産業に大きな発展と経済効果をもたらした。しかし、今後は新規の大規模事業も見込めず、地元建設事業者を中心に将来不安も根強い。今後の公共事業計画と地元建設事業者支援策について</p> <p>2 本市の基幹産業である農業は、農業従事者の高齢化、TPP 合意による農業への影響と経営環境の悪化が懸念される。農業政策における市の中長期的な展望と後継者育成について</p> <p>3 米粉発祥の地としての米粉ブランドの確立と市民への盛り上がりが必要と考えるが、今後の市の取組と支援策について</p>	<p>市長</p>
<p>4 市内中学校の再編成について</p>	<p>まちづくりの基本は人づくり、「教育は人をつくり、地域をつくる崇高な営み」という教育振興基本計画の理念の下、義務教育を実施している。人生の中でも特に人間形成として一番大切な時期が中学校教育であると考えます。</p> <p>市内の乙、築地、黒川の 3 中学校は、ほぼ 1 学年 1 クラスの学校規模の状況、今後も少子化により複数学級化への期待は薄い。生徒が集団の中で切磋琢磨しながら教育を受け、成長していく上でも色々な課題も多く、再編成が喫緊の課題と考える。</p> <p>1 現在の各中学校の生徒数、クラス数の現状と将来見通しについて</p> <p>2 昨年 1 月 27 日に文科省が示した「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」に関しての所見と本市の中学校の課題について</p> <p>3 再編成が喫緊の課題だと考えるが、市長の所見と今後の計画について</p>	<p>市長 教育長</p>

受付番号 平成28年 2月24日  
午後3時30分 受領

平成28年 2月24日

胎内市議会議長 渡辺俊様

会派名 志政会

会派代表質問者

氏名 高橋政実

## 会派代表質問通告書



胎内市議会運営に関する申し合わせ事項により、次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1. 財政健全化 について	先の施政方針で、普通交付税の段階的縮減で行財政は一層厳しい。その中で市税等自主財源の確保・健全な財政運営と行政改革に取り組むとしている。平成28年予算では、市税率25%、交付税だのみ50%の中で、どう自主財源率をあげていくか伺います。 又、風力・太陽光・ジャムコ等などの税収は、「いつから」「いくら」と見ているか伺います。	市長
2. 空家バンク 関連につい て	市内には367件の空家、内訳として、すぐ住める・小規模修理で221件。危険・大規模修理で146件と伺ってます。221件については先の宅建とのバンクに期待いたしますが、安心・安全の角度から146件についての今後の取り組みを伺います。	市長
3. 児童・生徒の ネットルール づくりについ て	先の尾木直樹氏の講演でも提案されたこの件は、長岡市・佐渡市では、小中PTA連合会が主体でルールづくりを行っている様ですが、当市の現状は？そして今後の取り組みを伺います。	教育長
4. 18歳投票権 について	市の学校教育現場での、この啓蒙教育の実態と今後の取り組みを伺います。	教育長

( / 枚中 / 枚目)



胎内市議会議長 渡辺 俊 様

受付番号	平成28年 2月25日
	午前10時22分 受領

## 会派代表質問通告書

平成28年 2月25日

会派名 公明党

会派代表質問者氏名 渡辺 栄六

胎内市議会運営に関する申し合わせ事項により、次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問相手
一億総活躍社会の推進のために	<p>1、安心して子どもを産み育てられ、魅力ある胎内市を目指し、妊娠から子育てまで切れ目なく支援する施策をどのように講じていくのか所見を伺う。</p> <p>2、政府は、2017年度までに保育の受皿を50万人増やすことを決めているが、保育士の人材確保が喫緊の課題である。保育士の処遇改善や再就職支援策が重要であるが、市長の見解を伺う。</p> <p>3、少子化の大きな要因の一つといわれる、未婚化・晩婚化の流れを止め、さらなる手厚い結婚支援事業が望まれるが、今後の取り組みは。</p> <p>4、乳幼児期の子育てと、親の介護を同時に抱える「ダブルケア」に直面する人が増えている。少子高齢化による介護の担い手不足などが背景にあり、ケアを担う人をどう支えていくかが大きな課題だが支援策について伺う。</p>	市長
市職員の人材登用と行政サービスについて	<p>1、男女共同参画社会の実現に向け、女性管理職候補の人材の裾野を広げ、女性が活躍できる場を増やすことが重要だが、胎内市として女性幹部の人材登用について市長に伺う。</p> <p>2、市役所や支所を訪れた市民から、職員のあいさつや、対応マナーが良くないとの苦言を聞いているが、職員のマナー向上について伺う。</p>	市長

(2枚中1枚目)

質問事項	質問の要旨	質問相手
18歳選挙権を踏まえて	<p>1、18歳選挙権を踏まえた高校生の政治活動は、授業や部活など校内の活動に持ち込むことは禁止されているが、放課後や休日の活動は家庭理解のもと、生徒の判断で行なえるが主権者教育の指導について伺う。</p> <p>2、インターネットを使い、ブログや掲示板に書き込んだり、ツイッターやライン、フェイスブックなどで選挙運動のトラブルが想定されるが、注意点や指導について伺う。</p> <p>3、新たに有権者となる18、19歳の人々が、春に進学などで引っ越しをしても確実に投票ができる改正公職選挙法が成立した。これにより転居による「投票権の空白」が解消されるが、どの段階で生徒に周知徹底が図られるのか。</p>	選挙管理委員長
教育環境の充実について	<p>県内のほとんどの小中学校で、トイレの改修が進められている市内小中学校においても、生活スタイルの変化や健康問題、衛生面からもトイレの洋式化を進め、安心・快適に利用できる学校トイレにしていくべきでないか。</p>	教育長
マイナンバー制度について	<p>1、マイナンバー制度の本格運用に伴い、1月から公的な身分証明にもなる「個人番号カード」の発行が開始したが、申請交付状況は。</p> <p>2、「通知カード」が届いても、手続きを煩わしく思い放置したり場合によっては届いたことすら気付かないケースも考えられる。円滑な運用に向け、個人番号カードの申請が着実に行なわれるよう周知徹底を図るべきでないか。</p> <p>3、高齢者でも簡単に個人番号カードを取得できるように、顔写真の撮影から申請までをその場で一度に行なうことができる交付申請機能を備えた、証明写真機を市役所に導入することができないか。</p>	市長

受付番号	平成28年 2月24日
	午後4時35分 受領

平成 28 年 2 月 24 日

胎内市議会議長 渡辺 俊 様



会派名 日本共産党  
氏名 丸山孝博  
会派代表質問者

## 会派代表質問通告書

胎内市議会運営に関する申し合わせ事項により、次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
子どもの貧困対策について	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 子どもの貧困に対する認識と今後の対応について</li> <li>2 経済的理由で、専門学校や大学に進学できない子どもについての認識は</li> <li>3 給付型奨学金や支度金制度を創設すること 国へ給付制奨学金の充実や奨学金の利子補給制度の創設、私学助成の充実などを要望することについて</li> <li>4 保育料のさらなる軽減として第2子以降を無料にすることについて</li> </ol>	市長 教育長
再生可能エネルギー— 柏崎刈羽原発 について	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ダムを建設しない小規模の水力発電が注目されているが導入の考えは</li> <li>2 洋上風力発電について <ol style="list-style-type: none"> <li>①電力の自由化に伴い競争の激化が予想されるが売電の見通し、採算性、稼働率はどうか</li> <li>②環境への影響や実績もなく採算性も不透明で有益性も疑問がある事業だけに、慎重な対応をおこなうべきだがどうか</li> </ol> </li> <li>3 柏崎刈羽原発について <ol style="list-style-type: none"> <li>①再稼働問題についての見解は</li> <li>②避難計画に基づく受け入れ、市民に対する対応について</li> </ol> </li> </ol>	市長



質問事項	質問の趣旨	質問の相手
公契約条例の制定について	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 平成25年第3回定例会での質問後、どう検討されたのか</li> <li>2 胎内市中小企業・小規模企業振興基本条例を実効あるものにするためにも、公契約条例は必要であると思うがどうか</li> </ol>	市長
胎内リゾートについて	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 第二次マスタープラン中間年度目標値に対する進捗状況について</li> <li>2 (株)胎内リゾートに対する委託料の算出根拠について</li> <li>3 市民参画なくして魅力的な観光地とはいえないが認識と現状、今後の取り組みについて</li> </ol>	市長